

アクチュアリーインターンシップ

1月24日(月)	住友生命東京本社
13:00	開講
13:30	講話
14:20	講義 ・ アクチュアリー基礎知識 ・ 生保数理の基礎 ・ 2日目実践の概要
15:50	質問コーナー
16:20	終了
16:30~	幕張研究センターへ移動
18:30	夕食
19:30~24:00	懇親会

1月25日(火)	住友生命 幕張研修センター
9:00	模擬実践 ・ 保険料決定に関する模擬実践
11:30	昼食
12:30	模擬実践内容の発表
16:00	終講

<参加の目的>

- ・ 日頃のセミナーで身に付けた知識が実際の業務にどのように生かせるかを知る
- ・ アクチュアリーという業務をインターンシップの経験を通し、自分の肌で感じる
- ・ 会社組織はどのようなところか、また社会人の方と触れ合い、話をする事でその答えを見つける
- ・ 他大学の学生と交流し、就職活動の情報交換をする

<一日目>

- ・ アクチュアリーという仕事は机に向かう仕事というイメージがあったが、他の部署との交流も多く、営業の人をはじめとする数理に詳しくない人に自分が行った保険料の算定や、新商品の企画についてわかりやすく伝えるというプレゼン能力が必須だということがわかった
- ・ 会社の健全性、他社状況などを踏まえた上で、適正な保険料を算出していくというのは会社の存続率にも大きく影響する非常に重要な部分の一つであるので、慎重さや物事を

- 表面だけでなく、前後左右多角的に見るとということが不可欠であることがわかった
- ・ 懇親会では現場の社員の生の声をリラックスした雰囲気のもとで聞くことができ、仕事のやりがい、苦労など多数の人の本音を聞くことができ、今後の就職活動のためになった

<二日目>

○模擬実践 いくつかのグループにわかれてビジネスゲームを行う

ビジネスゲーム1将来の利率・死亡率をランダムに発生させるワークシート(Excel)が各グループに提供され、それを基に保険料を設定し、販売件数を競い合う

ビジネスゲーム2販売件数だけが良い会社をあらわす指標でないことを学び、それぞれのグループで経営目標をたて、自分たちの会社は何にこだわって保険料を設定したかを発表し、その目標達成度を競う。最後にどのグループが、総合的に見て良かったかを投票する

- ・ 中間発表があり、他社（他グループ）がどのような経営目標を立てたかを知ることができるというプログラムだったので、そこから他社がどの程度の保険料を設定してくるかを予測することなどができ、実際のビジネスに少し近いものを味わうことができた
- ・ 非常に短時間で自分たちの目標をまとめ、パワーポイントで発表することまでやらなければならなかったため、グループワークの大切さや、実際のビジネスの現場ではスピードが非常に要求されていることがわかった

<全体の感想>

- ・ アクチュアリーは非常に専門性の高い職種で、ハードな仕事をこなしながら勉強をし、将来アクチュアリー資格を取れる人材を求めていることがよくわかり、実際に社員の方やインターンの仲間のお話を聞いていると本当に優秀な人が多く、刺激になった
- ・ 他大学の院生との就職活動の情報交換などを通し、大学院生であることで、業界を絞ってしまうのは非常に危険で、積極的に他のセミナーに参加し、志望の変更や軌道修正を柔軟に考えなければならないと思った